

第1学年 国 語

1 学習の進め方

- (1) 毎時間の最初に漢字スキルを使って漢字の学習に取り組みます。
- (2) 教科書に準拠して授業を進めます。
- (3) 話をしっかり聴いて、工夫しながらノートをとりましょう。
- (4) わからないことは積極的に質問して理解に努めましょう。
- (5) 相談の時間を生かして、自分の考えを広げたり深めたりしましょう。
- (6) 書写教材やプリントなどを使って言語に関わる力を養いましょう。

2 学習（授業）上の注意点

- (1) 授業に必要なものを忘れないようにしましょう。
…教科書、ノート（B5）、あかねこ漢字スキル、国語活用資料集、プリントファイル
書写では鉛筆、習字道具など
- (2) 字は楷書を使って、濃く、大きく、ていねいに書く習慣を身に付けましょう。
- (3) 提出物は期限を守りましょう。
- (4) 自分から積極的に学習や課題に取り組みましょう。
- (5) 発言は大きな声ではっきりとクラスみんなに伝えましょう。
- (6) 教室は失敗をする場所です。失敗や間違いを臆せず自分の考えを発表しましょう。

3 家庭学習の進め方

- (1) 日頃から読書や新聞等を通して活字に親しむ習慣をつけましょう。
- (2) 漢字の知識や文法についてはしっかり復習して知識の定着を図りましょう。
- (3) 計画的に教科書ワークを使って、復習に努めましょう。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 教科書、ノート、授業プリントをしっかりと読み直したり、見返したりしましょう。
- (2) 教科書ワークを使って、十分に理解ができているかを確認しましょう。
- (3) 漢字は正しく書けるように繰り返し練習しましょう。
- (4) わからないことがあったら、先生や友達に質問して理解できるよう努めましょう。
- (5) 本文を繰り返し声に出して読み、理解を深めましょう。
- (6) 漢字、文法、言語に関わる内容は繰り返し復習に努めましょう。

5 1年生での学習内容…授業時間は、週4時間 年間140時間

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	言葉に出会うために 1 学びをひらく	10月	5 筋道を立てて
5月	2 新しい視点で	11月	6 いにしへの心にふれる
6月	情報社会を生きる 3 言葉に立ち止まる	12月	読書に親しむ
7月	読書生活を豊かに	1月	7 価値を見いだす
8月		2月	8 自分を見つめる
9月	4 心の動き	3月	8 自分を見つめる

※上記以外に週一回書写の授業があります。

6 評価・評定について

評価とは、国語で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

<観点別評価と評価材料>

観点1 知識・技能

・我が国の伝統的な言語文化に親しみ、言葉の特徴や使い方、漢字、情報の使い方などについて理解し正しく用いる。また文字を正しく整えて速く書く。

(定期テスト、漢字復習テスト、書写等)

観点2 思考・判断・表現

A「話すこと・聞くこと」…相手や場面に応じ、適切に話すこと、表現の工夫を評価して聞くこと、問題解決に向けて話し合うことで、自身の考えを深める。

(発表、スピーチ、ディスカッション、朗読、聞き取りテスト等)

B「書くこと」…目的や意図に応じ、論理の展開を工夫して書き、また文章を書くことで自身の考えを深める。

(定期テスト、授業プリント、授業の発展課題、課題作文等)

C「読むこと」…目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方を評価しながら読み、読書を通して自己の向上を目指す。

(定期テスト、授業プリント等)

観点3…主体的に学習に取り組む態度

・国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、国語に対する認識を深め国語を尊重する。

(定期テスト、テスト反省の自己評価、提出物の提出状況・内容等)

7 備 考 (注意事項・アドバイスなど)

第1学年 社会科

1 学習の進め方

- (1) 1・2年生で地理・歴史、3年生で公民を学習する
- (2) 教科書に準拠して授業を展開する
- (3) 単元によって、グループでの話し合いや意見を交換する時間を設けます
- (4) 資料を整理し、わかりやすくまとめる時間を設けます
- (5) 状況に応じて小テストを実施する

2 学習（授業）上の注意点

- (1) 授業は、専用の台紙（画用紙）に保管する授業プリントで学習を進める。
- (2) 地理と歴史で別々のファイルを使用する。
- (3) 授業中に板書したこと、説明したことのうち必要と思うことは積極的にメモしましょう。
- (4) 重要語句はマーカー・色ペンでチェックする等、授業プリントのまとめ方を工夫しましょう。
- (5) 調べ学習やグループでの話し合い活動には積極的に参加しましょう

3 家庭学習の進め方

- (1) 復習をする場合には、授業プリントと教科書を照らし合わせ、よく確認しましょう。学習したことは忘れる前にワークで確認することも大切です。
- (2) 予習をする場合には、教科書をよく読み、太字で表記されている重要語句を確認しておくようにしましょう。
- (3) 定期考査前には学習したことを（自分で）ノートにまとめてみるのも有効な勉強方法です。授業プリント、教科書、ワークを活用して「ノートまとめ」をしてみましょう。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 授業プリントと教科書を照らし合わせ、振り返りましょう。「ノートまとめ」は有効な勉強方法です。
- (2) ワークの問題を解き、知識が定着するようにしましょう。ワークは反復して解けるよう、付属のノートを活用すること。
- (3) 学習の基本は、用語や地名などの重要語句を覚えることです。さらに単元の流れを理解することを心がけましょう。自分の言葉で重要語句の意味や、単元の流れを説明できるようにしましょう。

持ち物 地理のとき→教科書・授業プリント・地図帳・ワーク、必要に応じて Chromebook、のり
歴史のとき→教科書・授業プリント・ワーク、必要に応じて Chromebook。

※持ち物は全てロッカーに置いて構いませんが、授業開始の時には机上に準備した状態でいてください
※授業プリントをファイルする時はきちんと折って、ていねいに保管するようにしてください。

5 1年生での学習内容（授業時間は、週3時間、年間105時間）

月	学習内容	月	学習内容
4月	地理 ・世界の姿、日本の姿	10月	地理 ・世界の諸地域 オセアニア
5月	地理 ・世界の人々の生活と環境	11月	歴史 ・人類の誕生、 ・縄文・弥生時代、古墳時代
6月	地理 ・世界の諸地域 アジア ヨーロッパ	12月	歴史 ・奈良時代、平安時代
7月	地理 ・世界の諸地域 アフリカ	1月	歴史 ・鎌倉時代、室町時代
8月		2月	歴史 ・室町時代、大航海時代
9月	地理 ・世界の諸地域 北アメリカ 南アメリカ	3月	歴史 ・安土桃山時代

6 評価・評定について

評価とは社会科で身に付けてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で1～5の5段階でつけたものです。

<観点別評価と評価材料>

観点1 「社会的事象への知識・技能」

世界や日本の国土と歴史に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。

(評価材料) 定期考査、小テスト、ワークや教科書での学習、その他状況に応じて課される提出課題など

観点2 「社会的な思考・判断・表現」

社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、地理や歴史に見られる課題の解決に向けて**選択・判断**したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。

(評価材料) 定期考査、小テスト、ワークや教科書での学習、その他状況に応じて課される提出課題など

観点3 「主体的に学習に取り組む態度」

授業やグループワーク、調べ学習などに積極的に取り組み、よりよい社会の実現のために課題を主体的に解決しようとしている。

(評価材料) レポート、授業、ファイル、ワークへの取り組み方、その他状況に応じて課される提出課題など

例：ファイル（授業プリント）の評価の場合

応用部分が工夫され、不足が絶対的にない：a、基本的なことがまとめられている：b、

明らかに足りない部分があるがかりうじて提出：c、未提出：d

第1学年 数学

数学の授業は、週4時間です。

1 学習の進め方

1時間の中にできるだけ多くの問題を扱うようにする。

- (1) 講義・・・教科書の内容をプリントに整理し、問題を解きながら理解する。
途中の過程を確実に書くようにする。
- (2) 問題演習・・・教科書の問や黒板に書いた問題を解く。
- (3) ワーク学習・・・授業の進み具合に応じて、進める。
- (4) 宿題・・・ワークは授業の進み具合に応じて宿題とする。

2 学習（授業）上の注意点

- (1) ノートを取る。考えるところはしっかりと考えることが大切。
- (2) 解らないことはそのままにせず、解るまで質問する。
- (3) 途中式を必ず書く。
- (4) 間違いを直すときは、その理由を大切に。必ずやり直す。
- (5) 毎授業、振り返りシートを使いその日の授業を振り返る。

3 家庭学習の進め方

- (1) ワークは授業の進度に合わせて進める。授業の進み具合に応じて宿題とする。
毎日の復習として取り組む。
- (2) ワークなどの課題は丁寧に取り組む。間違えたときは、もう一度取り組み、間違いを見つけ、直す。解らないときは答えを見て考えてよい。答えだけを書くのではなく、途中の計算過程を書く。

※ワークの進め方※

- ① 自分で解く。答え合わせをする。
- ② 間違えた問題は、どこを間違えたか確認する。
- ③ 解らないときは解答を見ながら考える。
- ④ 解らない問題は先生に聞く。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 試験範囲の問題をやり直す。
- (2) ノートで語句の意味やポイントを確認する。
- (3) 時間があれば、さらにいろいろな問題を解くことにチャレンジする。

5 1年生での学習内容（授業時間は、週4時間 年間140時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	第1章 正負の数	10月	第3章 方程式 第4章 比例と反比例
5月	第1章 正負の数	11月	第4章 比例と反比例 第5章 平面図形
6月	第2章 文字と式	12月	第5章 平面図形
7月	第2章 文字と式	1月	第6章 空間図形
8月	夏休みのため 授業なし	2月	第6章 空間図形 第7章 データの分析と活用
9月	第3章 方程式	3月	第7章 データの分析と活用 1年間のまとめ 演習問題

6 評価・評定について

(1) 観点別評価は、下記の項目・割合で算出し達成度によりABCで評価します。

観 点	観点1 知識・技能	観点2 思考・判断・表現	観点3 主体的に学習に取り組む態度
内 容	計算やグラフを書くなど、 数学的に処理することができるか。	先を読む力、根拠を説明する 力など身に着けているか。	数学的活動の楽しさや数学の 良さを実感し、活用しているか。
評 価 材 料	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト ・単元レポート	・定期考査振り返り ・毎週のワークのチェック ・定期考査前のワークのチェック ・ファイルチェック ・小テストの再テスト

(2) 評価は観点を算出し、達成値により評定を算出します。

7 その他

(1)長期休業中等に補充教室を行います。

第1学年 理科

1 学習の進め方

- (1) 【単元1】生物分野は観察とともに、調べ学習を中心とした授業です。
- (2) 【単元2】物理分野と【単元3】化学分野は、実験を中心とした授業です。
- (3) 【単元4】地学分野は、主に調べ学習や、学び合いを中心とした授業です。

2 学習（授業）上の注意点

- (1) 毎回の授業で、**教科書**、**理科便覧**、**ノート**（B5サイズのいわゆる大学ノート）、**赤ペン**、**青ペン**、**のり**（スティックのり、テープのり等）、を持ってきてください。ワーク（理科の完全学習）は、指定したときに持ってきてください。
- (2) 授業で配られるプリントは、基本的に「すべてノートに貼る」こととなります。貼り方など、授業での指示をよく聞いてください。
- (3) 実験や観察では安全が第一です。事故は自分だけでなく、周りの人にも危険が及びます。薬品や実験器具・装置の使い方や注意点をしっかり聞き、十分に理解した上で、作業を行って下さい。
- (4) 実験台の上を整理し、集中して作業を行って下さい。片付けは協力して行いましょう。
- (5) わからないことはそのままにせず、積極的に質問をして理解を深めていきましょう。

3 家庭学習の進め方

- (1) 理科では、新しい発見をし、それを科学的に考えていく過程が大切です。したがって、必ずしも教科書の予習をする必要はありません。
- (2) その分、授業の復習が大切です。ノートの開いたところには、**自主学习**とかいて、教科書・ノート、理科便覧、プリントをよく読み返し、その授業に関係するまとめや、調べたことをかきましょう。また、ワークで問題を解く練習などをしましょう。
- (3) 自分で調べてもわからないことは、そのままにせず、積極的に質問してください。
- (4) 小テストの振り返りや定期テストのやり直しを行いましょう。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 教科書、理科便覧、ノート（プリント含む）をよく見直しましょう。
- (2) 実験・観察の手順や、注意点、なぜそのような操作を行うか、何がわかるのか等をよく理解し、プリントやノートにまとめましょう。
- (3) ワークは「完全学習ノート」に（これを提出します）、①自分で解く（鉛筆）、②調べて解く、確認する（青）、③丸付け、間違い直しをする（赤）のように、段階を踏んで取り組みましょう。余白には、問題の解説（解き方）、計算方法、考え方のまとめなどをかきます。

(4) 重要な用語は、覚えるだけではなく、説明できるようにすることで理解が深まります。

(5) 計算や作図、グラフの問題は、繰り返し何度も行うことが大切です。

5 1年生での学習内容 (授業時間は、週3時間 年間105時間)

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	・生物の観察と分類のしかた	10月	・物質の姿と状態変化 ・光の世界
5月	・植物の分類	11月	・音の世界
6月	・動物の分類	12月	・力の世界
7月	・身のまわりの物質とその性質	1月	・火をふく大地
8月	夏休みのため 授業なし	2月	・動き続ける大地
9月	・気体の性質 ・水溶液の性質	3月	・地層から読みとる大地の変化

6 評価・評定について

評価とは、理科で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この4観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

<観点別評価と評価材料>

観点1 【知識・技能】

- ・科学的に探求する能力の基礎と態度を育む。(小テスト、定期テスト)
- ・目的意識をもって観察、実験などを行い、データを整理してグラフなどにまとめる力を育む。(実験での取り組み、実験プリント、小テスト、定期テスト、実験装置の取扱いテスト)

観点2 【思考・判断・表現】

科学的な見方を養うとともに、科学的に考える力を育む。
(実験プリント、レポート、定期テスト、小テスト)

観点3 【主体的に学習に取り組む態度】

自然の事物・現象に進んでかわり、自ら課題に対して粘り強く取り組み、主体的に学習に取り組む。(授業への取り組み、定期テスト、提出物、ノート点検)

第1学年 音楽

1 学習の進め方

- (1) 前時の振り返り・本時の予定の確認
- (2) 発声練習、校歌
- (3) 合唱練習（パート、全体）
- (4) プリント学習
- (5) 本時の振り返り・次回の予定

2 学習（授業）上の注意点

- (1) 苦手なことにも前向きに一生懸命取り組みましょう。
- (2) 周りに遠慮せず、豊かに自己表現をしましょう。
- (3) 楽譜にしっかりメモをしましょう。
- (4) プリントの内容やわからないことをそのままにしないようにしましょう。

3 家庭学習の進め方

- (1) 宿題や提出物は期日を守って取り組みましょう。
- (2) 実技テスト前は、家庭でも確認の練習をしましょう。
インターネットの動画や音源を利用して実技の練習をするのも良いと思います。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 基本的に授業で話したことを出題するため、授業内容をしっかり聞きましょう。
- (2) プリントにしっかり目を通しましょう。
- (3) わからないことはそのままにせず、質問しに来てください。

5 1年生での学習内容（授業時間 1・2 学期週 1.3 時間 3 学期週 1 時間 年間 45 時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4 月	歌唱：校歌（二部合唱） 鑑賞：楽典（音符）、変声期	10 月	歌唱：課題曲、自由曲
5 月	歌唱：課題曲「行き先」 実技テスト（校歌） 鑑賞：春	11 月	歌唱：浜辺の歌 実技テスト（課題曲） 創作：リズム創作
6 月	歌唱：課題曲、各クラスの自由曲	12 月	器楽：箏（実技テスト）
7 月	歌唱：校歌 各クラスの自由曲	1 月	歌唱：校歌（混声三部合唱） 鑑賞：雅楽「越天楽」
8 月	夏休みのため 授業なし	2 月	歌唱：校歌（混声三部合唱） 卒業式の歌「春風の中で」
9 月	歌唱：課題曲、自由曲 鑑賞：魔王	3 月	歌唱：校歌（混声三部合唱） 卒業式の歌

6 評価・評定について

評価とは、音楽で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

<観点別評価と評価材料>

観点1 【知識・技能】

定期テスト

実技テスト（姿勢・発声・発音・音色などの歌や楽器に必要な技能）

観点2 【思考・判断・表現】

定期テスト

提出物（ワークシート）

実技テスト（強弱や表情などの表現、歌詞の発音の仕方など）

観点3 【主体的に学習に取り組む態度】

授業への取り組み（発言、発表、ワークシート、練習態度、）

提出物（ワークシート、振り返りカードなど）

第1学年 美術

1 学習の進め方

- (1) 基礎基本を身に付ける
- (2) 参考作品や資料を基にアイデアを練る。
- (3) 制作の順序を考え見通しを持つ。
- (4) 材料や用具を生かし意図に応じて工夫して表す。
- (5) 他生徒の作品の良さ、自分の作品の良さに気づき尊重する。

2 学習（授業）上の注意点

- (1) 表現することを楽しんで活動する。
- (2) 表現したいイメージや主題を明確にする。
- (3) 授業準備をする。（材料、資料やアイデアに関するものを含む）
- (4) 授業時間の中で制作の時間配分を工夫する。

3 家庭学習の進め方

- (1) 発想するための情報を集める。
- (2) 学習内容に関連したものに興味を持つ。
- (3) 情報を発想や構想に生かして表現したり、鑑賞したりできる体験を積み重ねる。
- (4)

4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 授業課題に関連した教科書、資料集、プリント内容の確認。
- (2) 基礎知識を実技に活用できるようにする。
- (3) テスト範囲に含まれる内容に関連した事に関心を持つ。
- (4) 授業の振り返りをする。

5 1年生での学習内容（授業時間は、週1.5時間 年間45時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	自己紹介：花のスケッチ 鑑賞：私の一点	10月	生活をいろいろ文様 日本の伝統色
5月	色の学習 色覚の多様性	11月	平面構成：和の文様・和の色
6月	絵の具の混色 さまざまな表現：	12月	平面構成：和の文様・和の色
7月	さまざまな技法で音を表現する 美術館へ行こう	1月	平面構成：和の文様・和の色
8月	夏休みのため 授業なし	2月	木彫の技法
9月	鑑賞：風神雷神図屏風 さまざまな技法で音を表現する	3月	木彫なべしきのデザイン 鑑賞

6 評価・評定について

評価とは、美術で身につけてもらいたい5つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

<観点別評価と評価材料>

観点1

- ・ 期末テスト
- ・ 実技テスト
- ・ 作品

観点2

- ・ 期末テスト
- ・ ワークシート
- ・ アイディアスケッチ
- ・ 作品解説カード

観点3

- ・ 期末テスト
- ・ 作品制作過程、提出
- ・ 授業への取り組み（授業カード）
- ・ まとめワークシート

第1学年 保健体育

1 学習の進め方

- (1) ラジオ体操を行います。
- (2) 準備運動の後に主運動を行います。
- (3) 学習カード・振り返りシートを活用します。
- (4) 必要に応じて映像の活用や示範を行います。

2 学習（授業）上の注意点

- (1) 体調が悪い場合はすぐに伝えてください。
- (2) 安全に留意して、真剣に取り組みましょう。
- (3) 教師の話をよく聴き、自ら考え、主体的に取り組みましょう。
- (4) わからないことはそのままにせず、聞くなどして解決しましょう。

3 家庭学習の進め方

- (1) 自分に合った運動に取り組む。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 授業で学んだことを振り返りましょう。
- (2) 「図解中学体育」を活用しましょう。
- (3) 「新中学保健体育」を活用しましょう。
- (4) わからない時は積極的に聞きましょう。

5 1年生での学習内容（授業時間は、週3時間 年間105時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	陸上競技 体づくり運動	10月	陸上競技 保健
5月	陸上競技 体づくり運動	11月	長距離 体育理論（男女）
6月	ソフトボール、水泳 保健	12月	器械運動 柔道
7月	水泳 ソフトボール	1月	柔道 保健
8月	夏休みのため 授業なし	2月	サッカー バドミントン
9月	陸上競技 バレーボール	3月	保健 サッカー バドミントン

6 評価・評定について

評価とは、保健体育で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

<観点別評価と評価材料>

観点1 【運動や健康・安全についての知識・技能】

運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けることができる。また、個人生活における健康・安全について理解するとともに、基礎的な技能を身に付けることができる。

（評価材料）*スキルテスト*振り返りシート*日々のプレー*定期考査*学習カード

観点2 【運動や健康・安全についての思考・判断・表現】

運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。

（評価材料）*振り返りシート*授業中の動き及び発言*定期考査

観点3 【運動や健康・安全について主体的に学習に取り組む態度】

運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとしている。また、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をしようとするとともに、生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営もうとしている。

（評価材料）*授業態度*学習カード

第一学年 技術家庭科（家庭分野）

1 学習の進め方

- ・家庭科の授業は教室で行いますが、授業内容によっては調理室で行う場合もあります。
- ・毎時間、ワークシートを配布します。板書したり、先生の話聞いてメモをします。
- ・授業の終わりには、今日のまとめを記入したワークシートを提出します。

2 学習上の注意点

- ・チャイムと同時に挨拶ができるよう、準備や着席をしておく。
- ・授業は私語をせずに集中して取り組む。

3 家庭学習の進め方

- ・学習した内容を家庭で実践する。
- ・ワークシートを参考に、教科書を復習する。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- ・授業ワークシートを中心に、教科書を復習する。

5 評価・評定について

評価とは、家庭科の学習で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点を総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

★観点別評価と評価材料

観点1 【知識・技能】

*定期考査、ワークシート、その他状況に応じて課される提出課題。

観点2 【思考・判断・表現】

*定期考査、ワークシート、教科書での学習、その他状況に応じて課される提出課題。

観点3 【主体的に学習に取り組む態度】

- *授業への取り組み姿勢、よりよい生活の実現のために課題を主体的に解決している。
- *授業ワークシート、その他状況に応じて課される提出課題。

6 1年生での学習内容

月	学習内容	月	学習内容
4月	3年間の家庭科のガイダンス	1月	住まいのはたらきとここちよさ
	1. 食事の役割と食習慣	2月	① 住まいのはたらき
5月	① 食事の役割	3月	② 住まいの空間
6月	② 健康によい食習慣		安全な住まいで安心な暮らし
	2. 中学生に必要な栄養を満たす食事 体に入った栄養素のゆくえ		① 家庭内事故への備え
7月	① 中学生の発達と必要な栄養		② 災害への備え
	② 栄養素のはたらきと6つの基礎食 品群		持続可能な住生活
	1日にとりたい食品と分量		持続な住生活をめざして 学習のまとめ
	③ 栄養バランスを目で見て判断		
9月	3. さまざまな食品とその選択 食品が食卓にのぼるまで		
10月	① 生鮮食品の選択と保存		
	② 加工食品の選択		
11月	③ 食品の安全と情報		
	4. 日常食の調理		
12月	おいしさと調理		
	5. 地域の食文化 日本各地の郷土料理		
	6. 持続可能な食生活 持続可能な食生活をめざして 学習のまとめ		

第1学年 技術家庭科（技術分野）

1 学習の進め方

- (1) 前時の振り返り・本時の予定
- (2) 作業の説明・諸注意
- (3) 作業
- (4) 片付け
- (5) 本時の振り返り・次回の予定

2 学習（授業）上の注意点

- ・ 技術の授業は教室、木工室、金工室を使用します。
- ・ 授業でプリントを配布します。板書された用語などをプリントに書き込むだけでなく、先生の説明も書き込むようにしましょう。
- ・ 安全な実習にするため、先生の説明を聞くときは聞き、作業や活動に取り組むときは集中して取り組みましょう。
- ・ 授業の終わりに授業のまとめをします。各自、授業で学んだことを記入できるようにしましょう。プリントは毎回提出です。
- ・ プリントはファイルに綴じます。ファイルは毎学期の終わりごろ提出です。プリントが返却されたらすぐファイルに綴じる習慣をつけましょう。

3 家庭学習の進め方

- ・ 授業では必ずファイルが必要になるので忘れないようにしましょう。
- ・ 授業のプリントを復習しましょう。
- ・ 授業で設計を行っているときは家庭でも考え、研究しておきましょう。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- ・ 授業プリントを中心に、教科書を復習する。

5 1年生での学習内容（授業時間は、週1時間 年間35時間）

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	【 A 材料と加工の技術 】 材料の特徴	10月	作品製作 部品加工
5月	製図 キャビネット図	11月	作品製作 部品加工～組立て
6月	作品製作 設計「工夫した設計を行う」	12月	作品製作 組立て～塗装
7月	作品製作 設計「工夫した設計を行う」	1月	作品製作 まとめ「製作品の評価」
8月	夏休みのため 授業なし	2月	【 D 情報の技術 】 パソコンの基本操作
9月	作品製作 部品表	3月	コンピュータの仕組み <学習発表会>

6 評価・評定について

評価とは、技術で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

★ 観点別評価と評価材料

観点1 【知識・技能】

生活や技術に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、生活と技術とのかかわりについて理解している。

* 期末考査 * 学年末考査 * 設計図 * 製図 * 製作品

観点2 【思考・判断・表現】

生活について見直し課題を見付けその解決を目指して自分なりに工夫し創造している。

* 授業プリントの記入内容 * 工夫された設計

観点3 【主体的に学習に取り組む態度】

生活や指導について関心を持ち、生活を充実向上するために進んで実践しようとする。

* 授業プリントの記入内容 * 授業態度

7 備 考（注意事項・アドバイスなど）

- ・ 技術では危険な機械や道具を使用することが多いです。授業では怪我をしないよう安全に実習・作業を行っていかねばなりません。そのために集中して作業に取り組みましょう。
- ・ 技術室は、他学年の生徒も使用します。使用後の整理整頓を常に心がけ、次の生徒が気持ちよく使用できるよう心がけましょう。

第1学年 外国語（英語）

1 学習の進め方

- (1) 授業のスタートは「帯学習（英語の歌、動詞36個のインプット、Q&A など、毎回短時間くり返し行う学習）」を行います。
- (2) 先生たちも授業中はたくさん英語を使います。不安に思うことがあるかもしれませんが、少しずつ慣れていくはずです。これも聞く力を伸ばすためのトレーニングです。
- (3) 授業は教科書を中心に、たくさんの活動（トレーニング）を行っていきます。

2 学習（授業）上の注意点

- (1) 間違いを恐れず、積極的に活動に取り組みましょう。
- (2) 間違いを恐れず、大きな声で、はっきりと発言しましょう。
※授業は失敗する場所です。失敗することで必ず成長できます。
- (3) 英語は「実技教科」です。授業では、勉強（トレーニング）方法を伝えます。
家に帰ってから自分でトレーニングができるように、授業中は活動に集中しましょう。
- (4) 忘れ物をしないように、気をつけましょう。
持ち物：教科書、ミキノート、ファイル、辞書、めきめき English、POWER UP PHONICS

3 家庭学習の進め方 ※皆さんの力を一番伸ばせるのが「家庭での繰り返し学習」です。

- (1) 授業の復習を中心に、音読をたくさんやりましょう。
※基本的に予習はしてこない。（授業中に未読のものを読解するトレーニングをします。）
※教科書本文のページ数が書かれている横のスペースに5回読んだら、
☆（星）を書きましょう。各ページ最低25回（☆5個）を目標にしましょう。
- (2) 出された課題（音読や「めきめき English」などは必ずやりましょう。
- (3) 音読する際は、最初のころは読むスピードよりも口や舌の動き・位置に気をつけて正しい発音・イントネーションを意識しましょう。教科書に記載されているQRコードを使って練習すると効果的です。
- (4) たくさん音読して、頭の中に入った英文は紙に書いて練習しましょう。
（※1、2学期は「書くこと」にはこだわりすぎず、「音」にこだわきましょう）
- (5) 紙にたくさん単語だけを書く「単語練習」は**オススメしません**。単語は音で覚える。
音で覚えたら、その単語を使って文を作り、何度も発音して言えるようにしましょう。
言えるようになったことを紙に書いて練習しましょう。
- (6) 英語はできる限り日本語に訳さず、ジェスチャー・場面・動きなどイメージで理解しましょう。

4 テストに向けての学習の取り組み方

- (1) 教科書本文の音読をたくさんやりましょう。（暗唱するくらい）
- (2) めきめき English で間違えたところは繰り返し取り組みましょう。（間違いがなくなるまで）

5 1年生での学習内容

(授業時間は、週4時間 年間140時間)

月	学 習 内 容	月	学 習 内 容
4月	Starter 1～3 For Self-study1 Lesson 1(途中まで)	10月	Lesson 5 Take Action (Listen 3 / Talk3) Get Plus 4 / Word Bank
5月	Lesson1 (続き) 音読テスト① Get Plus 1 Lesson 2	11月	Lesson6、音読テスト④ Take Action (Listen 4 / Talk4) Project 2
6月	Get Plus 2 / Word Bank Lesson 3 音読テスト② Take Action (Listen 1 / Talk1) Project 1 / For Self-study1	12月	Lesson7 スピーチ② (他人紹介) Take Action (Listen 5 / Talk5) Get Plus 5 / Word Bank
7月	Lesson 4 スピーチ① (自己紹介)	1月	Lesson8 Take Action (Listen 6 / Talk6) Get Plus 6/ Word Bank スピーキングテスト①
8月		2月	Project③ スピーチ③ (私の宝物 紹介)
9月	音読テスト③ Take Action (Listen 2 / Talk2) Get Plus 3 / Word Bank	3月	Reading for Fun “Alice and Humpty Dumpty”

6 評価・評定について

評価とは、英語で身につけてもらいたい3つの観点について、A・B・Cの3段階でつける成績のことです。評定とは、この3観点の総合評価で、1～5の5段階でつけたものです。

<観点別評価と評価材料>

観点1

<知識・技能>

定期テスト、会話テスト、音読テスト、スピーチ、聞きとりの活動

観点2

<思考・判断・表現>

定期テスト、会話テスト、音読テスト、スピーチ、授業中に行う話す活動、授業中に行う書く活動

観点3

<主体的に学習に取り組む態度>

定期テスト、会話テスト、スピーチ、授業中に行う聞きとりの活動・書く活動
話す活動・読む活動、スピーチ後のレポート、提出物（ワーク、ミキノートなど）

7 備 考（注意事項）

提出物については、提出期日を守り、遅れずに提出してください。欠席・出席停止中など提出日に事情がある場合は、登校した初日提出してください。また、提出日に提出できない理由がある場合は、必ず先生に申し出て、指示を受けてください。